

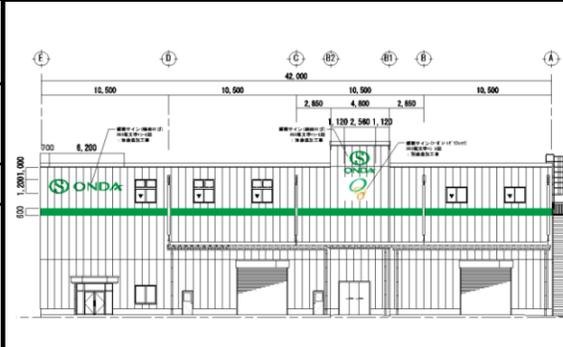
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

# CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社オンダ製作所 広島	階数	地上3F
建設地	広島市佐伯区石内北5丁目5013番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2015年1月19日
敷地面積	2,500 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	1,258 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	3,304 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 99%  
③上記+②以外の 99%  
④上記+ 99%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 2.9

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 1.8	スコア = 3.2
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 外皮の断熱強化 / - / Hf蛍光灯の採用 / - / 自動水栓、節水コマに加えて、節水型便器、擬音装置を採用 / -	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 沿道緑化 / 適切な量の駐車スペースを確保、管理用車両や荷捌き用車両の駐車施設を確保、交差点から離れた位置に導入路を設置	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 工場等 壁: ケイカル板(ボード類耐用年数30年) / 壁長さ比率: 事務所等、工場等 0.1 ≤ [壁長さ比率=0.144] < 0.3

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される